

広報

# せいざんかい

2009  
第5号

発行  
平成21年4月20日



高柳町荻ノ島から臨む黒姫山（撮影：外川潤一）

社会福祉法人 <sup>せいざんかい</sup> 泚山会

（私達法人は、「地域に開かれた・地域に愛される・地域に信頼される」をめざしています）

## 柏柳の里

- 特別養護老人ホーム（長期・短期）
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1502  
柏崎市高柳町岡野町2254-1  
TEL 0257-41-2202 FAX 41-2203

## いこいの里

- 特別養護老人ホーム（長期・短期）
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140（法人本部）  
TEL 0257-29-3800 FAX 29-3350

**柏崎市南地域包括支援センター**  
TEL 0257-31-4515 FAX 31-4525

## くじらなみ

- 特別養護老人ホーム（長期・短期）

〒945-0855  
柏崎市鯨波2丁目4番3号  
TEL 0257-32-1120 FAX 32-1121

# いこいの里

## 新任挨拶



園長 佐藤 澄江

「福祉法人沁山会」は、早いもので今年で十五年目を迎えようとしております。私は、今年から「いこいの里」へ再度勤務となりました。前園長四代が築かれた歴史を大切に、私なりに精一杯努めていきたいと思っております。

世間では不況の波が押し寄せている等暗い話題が多い毎日ですが、福祉の職場では日常における人と人とのつながりのなかでの何気ない会話や笑顔に勇気づけられ元気をいただくことが毎日です。社会福祉施設の基本的な役割が、利用者が自立した生活を送ることができるよう総合的な支援を行うことであると言われますが、地域社会の中でどのような働きをしていけばよいのか、果たすべき役割は何かを考えていかなければと改めて痛感しております。心安らぎ心温まる施設を目指し、常に福祉サービスを受けるものの立場に立つて良質かつ適切な福祉サービスを提供できるよう職員一同力を合わせ精一杯努めていきたいと思っております。のびのびと過ごしてほしいと思っております。

## 退任挨拶



前園長 山崎 昇司

新年度から園長が交代となりました。三月末をもって山崎園長は退任され、新たに佐藤園長が就任いたしました。

このたび園長職を退任させていただきました。あつという間の四年間でしたが、無事、職責を全うできたことをうれしく思っております。ありがとうございました。

ご利用者の皆様が少しでも満足して、お過ごしいただくことが最大の目標でしたが、いかがでしたでしょうか。地域の皆様のボランティアはじめ数々のご支援、職員チームワークのたまものと思っております。

後任の佐藤園長は、ケアに精通しています。駅伝と同じく、よい方にバトンタッチができました。

また、四年間のなかで特養くじらなみの開設に係らせていただいたこと、三年前の介護報酬の大幅改正、いこいの里十周年記念式、包括センター業務の受託、また震災に遭遇し、それを乗り越えたことが大きな経験でした。

法人本部に残り、社会福祉法人沁山会のさらなる発展に微力ですがお手伝いすることになりました。地域とともに歩み、根ざす運営が原点を新たにしております。よろしくお願いたします。

### 特別養護老人ホーム

- 利用者主体のサービスの提供  
利用者一人ひとりの尊厳を守り、ニーズや状況に応じたサービスを適切に提供します。
- 安全で快適なサービスの提供  
介護事故防止、個人情報の保護、苦情・要望に適切に対処します。
- 専門性をもったサービスの提供  
職員の専門性を高め、より質の高いサービス提供に向けた取り組みを行います。
- 地域との連携  
地域の高齢者福祉の拠点として施設の機能を発揮し、地域福祉に貢献します。地域との交流を積極的に進めるとともに、福祉の人材育成にも取り組んでいます。
- 食事  
食べる楽しみを重視し、おいしい食事の提供を目指します。
- 健康管理  
日常の健康管理を大切にし、感染予防体制、平常時・発生時の迅速適切な対応を図ります。

### 平成21年度 運営方針

新年度にあたり、各事業所・部署でそれぞれ方針を掲げました。この方針を基本にし、連携を深めながら施設全体のサービス向上に努めたいと思っております。

#### 《基本理念》

利用者から喜ばれる施設、家族から信頼される施設、地域から選ばれる施設を目指します。



### 短期入所生活介護

利用者一人ひとりの状態に合わせた介護サービス、健康管理、機能訓練等を提供し、個別性に徹した質の高いサービスを提供していきます。

### 通所介護

個別の状況やニーズに即したより良いサービスを提供できるよう、ご利用者やご家族の意見をとり入れ、柔軟な支援を行っていきます。

### 居宅介護支援事業所

自立した日常生活を営む上で保健医療及び福祉の分野にまたがる様々なサービスを効果的に組み合わせ、提供することにより生活目標の実現を図れるよう支援していきます。

### 柏崎市南地域包括支援センター

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、総合的な相談窓口として相談支援を行っていきます。介護予防のお手伝いを行い、いつまでも健康で生活できるよう支援を行っていきます。

行事紹介

今年度もこの写真のような笑顔がたくさん見られるよう、ご家族や地域の方々と一緒に楽しめる活動を計画していきます。



園内研修の取り組み

当施設では、職員の資質向上を目指し、時間外を利用して必要に応じたテーマの勉強会を毎月行っています。ここでは今年度の研修計画を紹介すると共に、昨年度行われた花榮寺住職様による看取りに関する研修を受講した職員の感想をご紹介します。

サービス向上のために

研修委員会 豊 和明

質の高いサービスを提供していくためには、それを担う職員一人ひとりのレベルアップが欠かせません。いこいの里では、開設当初より、園内研修の取り組みを続けてきました。基本的介護知識、技術の確認に加え、近年は看取り介護や、虐待の防止など利用者の尊厳を見つめ直すような項目が改めて重要視されています。それらをふまえ、内容を決定し、外部講師も積極的に活用してまいります。

看取りについて

花榮寺住職様法話

介護職員 土田 大介

看取りの研修を通じて、介護にとつて一番大切な心を再度学ぶ事が出来ました。多くの利用者の方々は最期の時を施設で迎えます。その利用者の方々に日々笑顔で接し、優しい言葉掛けをし、尊敬を忘れない。介護する側としての基本ですが、忙しいこの現場で、ただその事が『出来るか』『出来ないか』で、利用者の生活が良くも悪くも変化すると思います。

大切なのは『心』ではないでしょうか。『感謝』『愛』『敬意』『優しさ』—この四つ全てに『心』が入っています。この四つの心を忘れず、利用者の方々に接してまいります。また、その事を改めて教えて下さいました住職様に感謝致します。

○今年度職員研修の主な

- ・ 予定を紹介します
- ・ 救急法（心肺蘇生法など）
- ・ 虐待、身体拘束防止
- ・ 認知症の理解
- ・ 感染症の対応
- ・ 介護事故の防止
- ・ 看取り介護 など

利用者の皆さんから満足していただけるよう、柏柳の里やくじらなみと連携しながら、さらに園内研修の充実を図っていきます。



# 柏柳の里

四月一日付けで園長が交代となりました。よろしく願います。

## 地域によりそって



園長 岡庭 豊子

暖冬小雪とはいえ、施設の周りの山々にはまだまだ残雪の見られる高柳です。今春、四月より佐藤前園長の後を受け柏柳の里の園長を仰せつかることとなりました。微力ではありますが精一杯努めさせていただきます。

平成九年の開設より事務主任を務めてまいりました。平成十七年五月に柏崎市に合併、同時期に短期ユニット棟二十床の増床、居宅介護支援事業所の開設、介護予防パワーリハビリの開始と、地域の皆様に頼られ、信頼される施設を目標に一步一步進んでまいりました。

今年度は、特養整備の難しい中で、短期四十床の内二十床を特養に転換し、七十床特養にすべく、ご利用の皆様のご理解や関係機関との相談の上、進めていきたいと考えています。

今後ますます急増する、老老介護・認知介護・高齢者単身生活・在宅での介護の限界を支えられる施設サービス・在宅サービスを職員専門知識や技術をフル活用し、地域福祉の担い手として、更なる勉強を重ねてまいります。

ご指導ご支援をお願い申し上げます。

## 短い期間でしたが ありがとうございました。



前園長 佐藤 澄江

高柳に来て一年が過ぎました。一日も早く高柳の人たちに信頼され、愛されるようになりたいと思ひ努めてきました。まず、「柏柳の里のことをもっと知っていただきたい」そして「来てよかつた、また利用したいと思つていただけるよう」と思ひ、地域に親しまれるよう職員一同努めてきました。パワーリハビリ・デイサービス・ショート等利用していただく中で、地域の方からいろいろと教えていただきました。ご利用の皆様には、その人らしく生活していただきたいと職員と創意工夫をし、御自分で出来ることはしていただき、出来ないことをお手伝いするということを基本に、お年寄りの心と向き合うことを大切にしてきました。

高柳の人たちは働き者で、辛抱強く、自立心があり、心温かなところでした。高柳の土地、柏柳の里が大好きでしたが、残念なことにお別れとなりました。いろいろと教えていただいたこと、新たな職場では高柳で得た貴重な経験を活かして頑張っていきたいと思ひます。

### 研修委員会より

去る2月25日、「身体拘束・施設虐待を人権擁護の視点で考える」と題し、介護現場での経験を持ち、全国区の第一線で活躍されている高橋是司様（社会福祉法人つばめ福祉会専務理事）を迎え勉強会を開催しました。介護現場の実態に即したわかりやすい内容で、参加した職員からは「とても有意義な時間でした」との感想が聞かれました。

今後も研修会・勉強会を通し、職員の資質向上を図り、利用者・家族の方との信頼関係を築いていけるように努めていきたいと思ひます。

(介護職員 大塚 あや子)



# 平成21年度の取り組み

## 特 養

介護主任  
内山 一也

今年度、柏柳の里は更に変革の年を迎えようとしています。大規模な人事異動を始め、新しい取り組みにも挑戦するからです。特養は、「個別ケア」の取り組みを重視しながら三グループ体制で入所者の皆様に支援させていきたいと思います。行事については、例年行っている事に加え、新しい行事も計画しております。家族会の皆様の参加やご協力を宜しくお願い致します。その他にも職員のスキルアップの為の研修会への参加や勉強会などを随時計画し、より良い支援ができるよう努めます。



## 短 期 所 通 信

介護主任  
江部 富士子

「またお世話になります。」と温かい言葉を掛けられ元気が出ます。柏柳の里での生活を楽しく過ごしていただけるように、取り組みます。

- ① 利用者の方の要望に応えられるよう、一言一言や小さな気づきを大切にします。
- ② 個々の生活リズムに沿ったケア、趣味等を把握し、個別ケアを提供します。
- ③ 個々に合わせた機能訓練を実施し、在宅生活が継続できるような支援します。
- ④ 散歩・ドライブに出かけ、自然を味わっていただき、季節の催しを企画し楽しんでいただきます。

ホッとする空間、笑顔溢れるスタッフ一同、お待ちしております。



## デイサービス

デイサービス生活相談員  
橋爪 哲也

「おお、おめえさん、いたけえー」「おお、今日は一番のりだったてえー、おめえさんに会うのが楽しみにまつたてえー」ある朝の利用者同士の会話です。この利用者様たちは、住んでいる地域が違い、デイサービスセンターで初めてお知り合いになった人たちです。この方たちにとって、デイサービスは、お互いに会うことのできる一つの楽しみ場であるのです。今年度、このようにデイサービスを一つの楽しみ場として提供できる様、個別機能訓練に着目し、取り組んできました。デイサービスに通われる利用者様の中には日常生活の中で、運動する機会がないという方もいます。そこで、デイサービスでは、高齢者の方にもできる運動でかつ効果的な運動を実施することにより、心身ともに変化することの喜びを感じてもらえるような取り組みを行ってまいりました。身体の状態がよくなる、または、今以上に悪くならないよう予防することは、誰しもが、嬉しいものだと感じています。今年度も、様々なメニューを考え、より利用者様が楽しみや喜びをもってデイサービスにいくことができるよう、働きかけたいと思います。

## 調 理

管理栄養士 倉部 望

平成20年度は、「形のないミキサー食」という固定観念を覆すべく、「ムース食」に挑戦しました。様々なゲル化剤を使用し、流動物が固形に！ 試行錯誤を繰り返し、職員一丸となって取り組んできました。今年度も引き続き「目でも楽しめる食事」を利用者の方にお届けします。もう一つの取り組みとして、お肉をいかに軟らかくするかをテーマに、食べやすい肉料理の提供に研究を重ねていきたいと思っております。利用者の笑顔のために、今年度も頑張ります。

### ひな祭りのメニュー



三月三日にお出しした、手まり寿司です。「まあ、難儀されたねえ。キレイだねえ。」料理人としての最高のほめ言葉をいただきました。行事食は目先が変わり、皆さんに喜ばれます。今年度も食事を待ち遠しく思うような魅力ある食事作りを、職員一丸となり、取り組んで行きたいと思っております。

# くじらなみ

## 二回目の春を迎えて



園長 矢嶋 文博

施設開設後、早二回目の春を迎えました。

施設の様子は、お陰様で、長期・短期ともに満床状態でご利用いただいております。

また、一昨年七月の施設開設時六十五人であった職員数も、ここ一年で人員を充足でき、現在は九十人を超える職員によって、日々、お年寄りのケアに当たっております。

我々福祉施設にとって大切なことは、施設を安全に安心してご利用頂く事が一番ですが、そのための人材の確保、定着及び育成が非常に重要な課題であります。確かに、職員の確保の面では、「特養くじらなみ」は充足出来つつありますが、サービスの質は、ただ単に頭数だけで決まるものではありません。

今年度は、施設をご利用の皆さまから、サービス提供内容に、よりご満足いただけるよう、職員一同質の向上に努めてまいります。平成二十一年度も、よろしくお願いたします。

## 平成二十一年度 運営方針



当施設は、「あなたらしい生活を大切にします。」を理念とし、介護サービスの質の向上を常に念頭において、七月で三年目を迎えます。

今年度の方針としては、開設当初から掲げている

- ① 自分らしい生活を送ることができるようにお手伝いします。
- ② 安全に、安心して生活できるように創意工夫します。
- ③ サービスの向上のために、日々研鑽に努めます。
- ④ 地域とのつながりを大切にします。
- ⑤ 地域での暮らしの継続をサポートします。

を追求し、更なる資質の向上に努めてまいります。

具体的には、「第二の我が家」として生活した施設で最期まで、その人らしさを大切に、ご家族や嘱託医の協力のもと、介護と看護で連携し、施設における看取り・ターミナルケアを実施したいと思っております。

食事に関しての取り組みでは、個々の栄養状態に合った食事の提供をして、定期的に体重チェックし、摂取量はどうか、食事形態は合っているか、床ずれはできていないか等、利用者一人一人の身体状況、栄養状況を把握して、調理・介護・看護が連携を図りながら健康な生活をサポートできるように、その方に合った栄養ケアの提供に努めていきたいと思っております。

地域とのつながりでは、施設は「生活の場」である事を考えると、地域とのつながりはなくてはならないものです。地域社会の一貫として交流のある施設作りを努めたいと思っております。また、介護予防事業であるパワーリハビリ教室や介護保険事業のショートステイを有効利用してもらえよう情報の発信をしたいと思っております。

最後に、地域住民の方、ボランティアの方など多くの方に開設当初からご協力いただき、確実に利用者の方の笑顔や充実した生活につながっております。今後とも宜しくお願い致します。

## 年間行事

- 4月 運営方針説明会  
お花見ツアー
- 6月 えんま市ツアー
- 7月 くじらなみ夏祭り見学  
柏崎ぎおん祭見学
- 10月 文化祭



12月 クリスマス

1月 正月獅子舞

2月 節分

3月 ひな祭り



このほかにも各ユニットで楽しい行事を計画しています。

### 資質向上にむけて

研修委員会

くじらなみでは、職員の資質向上に向けて、毎月さまざまな研修を行っています。

今年度もさらに充実を図るために、職員よりアンケートを取り、希望の多かったものを中心に実施していこうと思っています。

内容は、救急法、接遇、事故防止、身体拘束、高齢者虐待、看取り、医療、感染対策の基本研修に加え、・口腔ケア、リハビリ、三大介助（食事・排泄・入浴）と生活を支えるための研修を計画しています。

さらに、ユニットケアについて十分な話し合いを重ね、理念である「あなたらしい生活を大切にします」を具体化し、基本姿勢を確立していきたいと思っています。

全員参加がなかなか難しいですが、ビデオ等で自己学習し、徹底を図りたいと思います。

また、園外研修にも参加し、モチベーションを高めたいと考えています。



### お知らせ

入居者の生活やユニットでの行事を紹介した「くじらなみ便り」を作成し、一階エレベーター脇掲示板に掲示しています。ご来園の際にはぜひご覧下さい。



### ボランティア募集中

- くじらなみでは、
  - ・お話相手・戸外散歩・行事のお手伝い
  - ・踊りや唄などの慰問
  - ・生涯学習教室の先生
  - ・お手伝い
  - ガラス拭き、草取り、清掃、ミシンかけ縫い物など・・・
- ボランティアをして下さる方を募集しています。

連絡先：特別養護老人ホーム くじらなみ  
TEL32-1120 (担当：中村・大図)

### ★平成21年度・教室コース案内★

- 実施日：①月曜・木曜コース  
②火曜・金曜コース
- 時間：午前9：30～11：30まで
- 場所：特養くじらなみ  
地域交流スペース
- 期間：週2回で3ヶ月間実施。  
(開始月は、4月・7月・10月  
H22.1月)
- 料金：送迎なし1回100円  
送迎あり1回500円



私たちがお手伝いします

運動もいいけど、仲間に会うのが何より、楽しみ!

初めは心配だったけど、親切に教えてくれるから大丈夫!

## くじらなみ パワーリハビリ教室



「パワーリハビリ教室」は地域のみなさまのための介護予防の教室です。

昨年十月にスタートしたパワーリハ教室ですが、さらに多くの方にご利用いただけるよう四月より定員を増員しました。

「最近、体の衰えが気になる方」や「運動をしたいけどやり方がわからない方」は、ぜひ一度ご相談下さい。

機器を使った運動は、難しそうに見えますが、職員がついて行うので、運動が苦手な方でも安全に・安心して行うことができます。

運動機能だけでなく、みなさまの生活が「活き活き」することを目標に、楽しい教室づくりを心がけています。みなさまのご参加をお待ちしています。

### ★終了後は一般開放をご利用下さい★

- 実施日：火曜日・金曜日（祝日休）
- 時間：午後1：30～4：30まで
- 場所：特養くじらなみ  
地域交流スペース
- 送迎：地区により、個別送迎あり  
※「元気館」や「柏柳の里」で教室を終了された方もご利用できます。

### お問合せ

柏崎市元氣支援課介護予防係  
20-4210  
特養くじらなみ  
32-1120 (担当：金子)

### いこい里内に

## 法人本部事務局設置

社会福祉法人泚山会は、三つの特養施設の経営組織体制の強化を図るため、いままでの兼務体制から専任体制をとり、新たにいこいの里内に法人本部事務局を設置し、四月一日開設しました。

スタッフは

- 事務局長 山崎昇司
- 事務主任 海津一也
- 事務員 林美弥子

業務内容

- ・理事会 監事会 評議員会等に関する事
- ・法人の事業計画、財務計画等に関する事
- ・人事管理に関する事
- ・各施設のサービス管理に関する事

今年の課題は①中期計画の策定―五年後をめざし、地域に根ざした経営を展開するための事業計画作り ②人材確保方針の策定(確保・定着・育成をめざし) ③人事考課の着手 ④いこいの里の浴室増改修整備などです。

## 新採用職員紹介

四月一日付新採用職員と motto をご紹介いたします。

### いこいの里

〈看護職員〉

- ・三井田久子  
笑顔と声かけを心がけ コミュニケーションをとっていききたいです。

〈生活相談員〉

- ・中澤 俊吾  
早く職場に慣れ、「視野」を広げ皆様のお役に立てるよう頑張ります。

〈介護職員〉

- ・近藤 貴子  
いつも元気良く、利用者目線に立った介護
- ・大田 佳澄  
大学生活で学んだ「感謝・感動」を motto に、頑張ります。



### 柏柳の里

〈介護職員〉

- ・坂田 彩香  
毎日、明るく元気な笑顔で、利用者の方と関わっていききたいです。



- ・清水 直也  
利用者様に対し、真剣かつ真心を込めた介護をしたいと思えます。

## 編集後記

新年度がスタートし、さつそく第五号をお届けでき、うれしです。

法人が平成六年六月認可され、今年で十五年の節目です。この間いこいの里、柏柳の里、十九年七月 くじらなみができ、職員も二百七十余名になりました。地域の皆様に安心してお過ごしできる施設として、さらに役割を磨いてまいります。

おかげ様でフレッシュな新採用職員七名を迎えることができました。職員が満足でき、やりがいのある職場となるよう、事業者として最善の努力はいたしますが、地域の皆様のご支援をよろしくお願いたします。

本部事務局が開設したばかりですが、地域の皆様の目線にたつてお役に立てるようがんばる所存です。この広報紙がそのつなぎ役になればと念じています。

(本部事務局 山崎)